

ラスト・ディール 美術商と名前を失くした肖像 (2018)

TUNTEMATON MESTARI
ONE LAST DEAL

メディア 映画

ジャンル ドラマ ミステリー

製作国 フィンランド

色彩 Color

時間 95分

初公開日 2020/02/28

公開情報 アルバトロス・フィルム=クロックワークス

【キャッチコピー】

謎の肖像画がもたらす
人生の真価――

【解説】

「ヤコブへの手紙」「ここに剣士を」のクラウス・ハロ監督が、仕事一筋だった老画商が、作者不明の一枚の肖像画を名画と見抜き、オークションで人生最後の勝負に挑むさまと、その過程でこれまで家族を顧みてこなかった自らの人生を見つめ直していく姿を描いたドラマ。主演は「ヤコブへの手紙」のヘイッキ・ノウシアイネン、共演にピルヨ・ロンカ、アモス・ブロテルス。

長年美術商を営んできたオラヴィだったが、近頃は経営も厳しく、そろそろ潮時と考え始めていた。そんなある日、ずっと音信不通だった娘から、学校で問題を起こした息子オットーを数日預かってほしいと頼まれる。こうして孫のオットーに仕事を手伝わせることになったオラヴィは、オークションに出品される予定の一枚の肖像画に目を奪われる。名画と確信するも、絵に署名がなく、作者が不明だった。そこでオットーとともに作者を探し始め、ついに近代ロシア美術の巨匠レーピン作との証拠をつかむ。そこで、なんとしてもオークションで競り落とすべく、金策に奔走するオラヴィだったが…。

【クレジット】

監督	クラウス・ハロ	Klaus Haro	
脚本	アナ・ヘイナマー	Anna Heinamaa	
撮影	トゥオーモ・フートリ	Tuomo Hutri	
衣装デザイン	サリ・スオミネン	Sari Suominen	
編集	ベン・マーサー	Ben Mercer	
音楽	マッティ・バイ	Matti Bye	
プロダクションデザイナー	カイサ・マキネン	Kaisa Makinen	
音楽プロダクション	サムリ・コスミネン	Samuli Kosminen	
出演	ヘイッキ・ノウシアイネン	Heikki Nousiainen	オラヴィ
	ピルヨ・ロンカ	Pirjo Lonka	レア
	アモス・ブロテルス	Amos Brotherus	オットー
	ステファン・サウク	Stefan Sauk	